

# アルマジロ Armadillo

これは決して他人事ではない  
日本でも憲法9条の歯止めがなくなれば、  
この映画のように大切な人を戦地へ送り出すことになるのかもしれないのだ  
戦争とは、人を殺すこととは、正義とは？  
ゲームでもフィクションでもない「戦争」を突きつけるドキュメンタリー

アフガニスタンの最前線アルマジロ基地。国際平和活動（PSO）という名の下に派兵されたデンマークの若い兵士たちに7か月間の密着撮影を敢行した。アルマジロ基地はNATOが統率する国際治安支援部隊（ISAF）の1つでイギリス軍とデンマーク軍が駐留している。平和な都市生活から前線基地での軍務。タリバンを敵とする偵察活動という戦争の日常のなか、数回の交戦で極度の興奮状態を体験した若い兵士たちは戦争中毒に陥っていく。

2009年の第82回アカデミー賞で作品賞・監督賞などを受賞した映画『ハート・ロッカー』の冒頭に「戦争は麻薬である」という言葉があるが、このドキュメンタリーではまさにそれが現実のものとして映しだされる。「なぜそんな危険なところへ行くの？」という家族からの問いに、若い兵士は「沢山のことを学べる。大きなチャレンジだし、冒険でもある」と答える。彼らはキャンプ内で食事をし、冗談を言い合い、戦争ゲームをする。しかし、そこはまぎれもない戦場で、死と隣り合わせだ。

監督のヤヌス・メッツとカメラは銃撃戦の最前線にも飛び込んで行き、兵士のヘルメットに搭載されたカメラの映像は銃弾が横をかすめるのを劇映画のようなカメラワークと編集で捉えていく。あまりに臨場感あふれる衝撃映像は、まるで「戦争映画」というエンターテインメントを体験しているようで、フィクションなのか現実なのかの区別を不能にする。  
『アルマジロ』公式サイト <http://www.uplink.co.jp/armadillo/>



銃弾がカメラをかすめる。  
ゲームでもフィクションでもない、  
これが「戦争」の現実。



ゲスト：岩上安身（いわかみ・やすみ）氏  
（ジャーナリスト/IWJ代表）

1959年生まれ、東京都出身。早稲田大学社会学部卒業後、情報センター出版局に入社、編集者となる。退職後、週刊誌記者を経て、1987年フリージャーナリストとなる。1989年から1994年まで6年間にわたり旧ソ連・東欧圏を取材。ソ連崩壊とロシア民主化の実相を描いた『あらかじめ裏切られた革命』で第18回講談社ノンフィクション賞受賞。最新刊は、3.11の大震災以降、福島県の人々にインタビューを重ねた『百人百話 第一集』。

2000年以降、フジテレビ系「とくだね!」、文化放送「タヤけ寺ちゃん活動中」などでレギュラーコメンテーターを務めた。現在はTOKYO MX テレビ「ニッポン・ダンディ」に火曜レギュラーコメンテーターとして出演。

既存大手メディアでは飽き足らず、インターネットを活用し、市民に根ざした新しいジャーナリズムのありかたを具現化するインターネット報道メディア「インディペンデント・ウェブ・ジャーナル」（略称:IWJ）を2010年12月に設立。代表を務め、連日、リアルタイムのライブ中継で情報を発信し続けている。<http://iwj.co.jp>

監督・脚本：ヤヌス・メッツ

1974年デンマーク生まれ。2006年、アフリカからサハラ砂漠を経由してヨーロッパを目指す非合法移住者たちのドキュメンタリー『密入国（Eventyrerne）』を制作。2008年『タイから汝へ（Fra Thailand til Thy）』（タイ人女性とデンマーク人男性の国際結婚についてのドキュメンタリー）でコペンハーゲン国際ドキュメンタリー映画祭の最優秀短編ドキュメンタリー賞を受賞。2010年の『アルマジロ』でカンヌ国際映画祭批評家週間グランプリなど、多数の映画祭で受賞している。

監督・脚本：ヤヌス・メッツ

撮影：ラース・スクリー

プロデューサー：ロニー・フリチョフ

サラ・ストックマン

製作：フリシヨフ・フィルム

デンマーク/2010年/デンマーク語・英語/

カラー/HD/105分

配給・宣伝：アップリンク